

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービミラサカ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三次市三良坂町皆瀬10075番地1

(3) 業種

2353 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準とし、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産重量(千t)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	523.4	455.4 13.0	576.3 -10.1	675.3 -29.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	523.4	455.4 13.0	576.3 -10.1	675.3 -29.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	排出量原単位の削減目標に対して、昨年度時点では悪化している。 主な要因は、受注減による生産重量が減少したためと考える。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	照明のLED化	CO2排出量1%削減	構内照明をLED化して、省エネを推進
2	エアー使用量の削減	CO2排出量2%削減	エアー漏れを調査・修繕し無駄をなくす
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物の削減	令和4年度のリサイクル率は、99.0%以上を目標とする。	廃棄物のリサイクル推進
2	社会貢献	県道清掃を年に2回、福祉機材等の寄贈を年に1回行う。	1. 会社周辺の県道清掃の実施（4/11, 10/11） 2. アルミ缶回収の収益金等による、卓上型対話支援機器の寄贈を実施（12/23）
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。